

# たかが便秘！されど便秘！その①

今回は日本消化器病学会専門医の八木専医師に  
「便秘」について伺いました。



▲八木 専 医師

便秘は「日常においてよくあることだし、別に死ぬ病気ではないのでほっといいい」といった考えがありませんか。慢性便秘症診療ガイドラインによると、便秘とは「本来体外に排出すべき糞便を分量かつ快適に排出できない状態」と定義されています。「いつもよりの排便回数が少ない

い」状態と思われがちですが、「過度にいきまないと出ない」「便が固くて出ない」「出てもスッキリしない」なども便秘です。近年、便秘患者は便秘でない人よりも死亡率が高いことが明らかにされています。米国の論文によると15年間の調査により便秘患者さんは便秘でない人よりも20%以上多く死亡していると報告されています。

では便秘ではどうして命を落とすのでしょうか？便を出すときのいきみによる血圧の急上昇が原因ではないかと言われています。特に高齢者で

は動脈硬化があるためにちよつとしたいきみで血圧が上がりがやすくなっており、その結果、脳卒中、クモ膜下出血、心筋梗塞や動脈瘤破裂などが起きる可能性があります。実際トイレで倒れて救急車を呼ばれることは稀ではありません。

これらの便秘状態の方や、便秘薬をいくら増やしても全く効かない方や、いきみが強くない方か出せない方は内科受診をすすめます。例えば、大腸癌や腸閉塞に伴って生じる器質的疾患に伴う便秘や、糖尿病 甲状腺機能低下症やパーキンソン

ン病に伴って生じる症候性便秘、薬物に伴う薬剤性便秘などがあり、これらはその原因となる疾患への治療が必須です。

社会福祉法人  
恩賜財団

## 済生会今治病院



今治市喜田村7丁目1番6号

<https://www.imabari.saiseikai.or.jp/>

# ☎0898-47-2500

